

こんにちは！ 家庭児童相談室です

子どもや家庭に関する様々な相談（子育て、子どもの発達や心身の障害、虐待、DVなど）を受け、必要に応じて担当部署・専門機関を紹介します。

個人・家族の秘密は、固く守られます。

家庭児童相談室（名取市役所1階）

【相談】平日 9:00～12:00

13:00～16:00

☎022-724-7120

児童虐待相談

児童虐待とは？

身体的・心理的・性的虐待、育児放棄（ネグレクト）を子どもの側に立って判断します

虐待のサイン

- 子どもに不自然な傷やあざがある
- 子どもが他者に対して乱暴、いじめる
- 親の怒鳴るような叱責など

DV相談

支援内容

専門の相談員と一緒に問題点を整理し、解決するための支援を行います。

【支援の例】 一時保護、自立支援、接近禁止命令

DV相談窓口

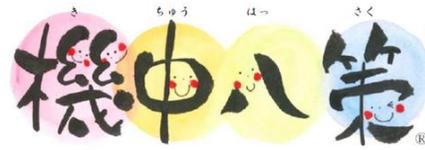
- DV相談ナビ #8008(はれれば)
- DV相談+(プラス)

☎0120-279-889

<https://soudanplus.jp/>



ポケット



名取市版



令和5年10月作成

名取市健康福祉部
こども支援課
家庭児童相談室
☎022-724-7120



千葉県渡邊児童相談所長が飛行機の中^{ちゅう}で考案した、^{はっ}どならず、^{ちゅう}たたかず、^{ちゅう}子どものやる気を引き出す非暴力コミュニケーションの^{ちゅう}八つの具体策^{ちゅう}です。

機中八策は、渡邊直氏の登録商標です。掲載内容について渡邊直氏より許可を得ています。

【渡邊直氏コメント】

名取市で幼児期から高校卒業まで過ごしていました。実家のある自治体からお声掛けされて、とても光栄です。

ブルーカード

ひどいおとぎばなし

暴力的な「ブルーカード」は、人間が本能的にとってしまう行動で、相手に伝わりにくいコミュニケーションです。

ブルーカードを切ると、青ざめて（自己否定）しまいます。

オレンジカード

ほまれかがやきを

非暴力的な「オレンジカード」は、相手と良い関係を保ちながら自分の思いを伝えられるコミュニケーションです。

オレンジカードを切るとほっこりあたたかい気持ち（自信・自己肯定感）になります。

相談・通告のポイント

- 虐待等があった日時・場所
- 児童と保護者の氏名・年齢
- 虐待等の状況
- 通告者の情報（匿名可）

児童虐待相談窓口

- 市家庭児童相談室 ☎022-724-7120
- 県中央児童相談所 ☎022-784-3583
- 児童相談所虐待対応ダイヤル ☎189（いちはやく）



ひ 否定

- ✓ ダメ！
- ✓ やめなさい！



ど 怒鳴る・たたく

- ✓ 何回言ったらわかるんだ！
- ✓ たたく（愛情があっても・・・アウト）

い 嫌味を言う

- ✓ いつもこうだといいいんだけどね～
- ✓ できるなら最初からやればいいのに

お おどす



- ✓ 怒られたいのか！
- ✓ 絶対に許さない

? なぜブルーカードがだめなの？

ブルーカードの行動・言葉は、「怒っている」こと「だめ」なことは伝わりますが、なぜだめなのか、どんな行動をとればよかったのかが伝わりません。子どもが委縮したり自己否定感を強めたり、大人への反発につながることもあります。

子どもを「してほしい行動・言動」に導くために、オレンジカードの行動・言動に切り替えましょう。感情的にならず、意識して練習することが大切です。

と 問う
(質問風の攻撃)

- ✓ どうしたらいい？
- ✓ 言いなさい！答えなさい！

子どもが黙る・固まる反応をしているときは、理解していない可能性が高いです。

ぎ 疑問形
(怒り口調)

- ✓ 何やってるの？！
- ✓ 何でこんなことしたの？！

ば 罰を与える

- ✓ もう一生ゲーム禁止
- ✓ 一週間おやつ抜き

大きすぎる罰は逆効果
せいぜい、元に戻させる、もう1度させる、くらいがいいでしょう。

なし なじる

- ✓ 人格否定
 - ・ どうしようもない奴
 - ・ バカ
- ✓ 非難する・責める
 - ・ あんたのせいで〇〇になった

ほ ほめる

- いいね！できたね！
- 分かってくれてありがとう
- だっこ・ハグ

ま 待つ
危険な行動は止めた上で

- 落ち着くのを待つ
- 理解できるのを待つ
- 成長するのを待つ

れ 練習する

- 一緒にやってみよう

練習することで
約束を理解させ、
してほしい行動の
定着を図ります



か 代替りの行動

- してほしい行動を短く、具体的に伝える
 - ・ うるさい→お話やめて
 - ・ 走るな→歩こうね

! オレンジカードを切るコツ

- ◆ してほしい行動を明確化する
- ◆ ワンフレーズで具体的に・短く・簡潔に
- ◆ 同じカードは一場面一枚ずつ
- ◆ 「ほ（ほめる）」は一場面何度切ってもよい
- ◆ 「か・や・れ・ほ」は一場面の中に必ず入れる
 - か：一緒にカート押してね
 - や：わかった？
 - れ：やってみよう
 - ほ：できたね！
- ◆ 話を聞ける環境が作れないならリセット

が 環境づくり

い いつも
ち 近づいて
お 穏やかな
し 静かな

や 約束

- わかったかな？ありがとう、じゃ、おねがい
- 今度〇〇なときは〇〇しようね

き 気持ちを理解

- 〇〇したい気持ち、わかるよ

を 落ち着く

- 親が落ち着く
 - ・ 深呼吸、6秒数える
 - ・ その場を離れる
- 子どもを落ち着かせる
 - ・ 止める、座らせる
 - ・ 別な場所に移動